

日本文学研究ジャーナル

Academic Journal of Japanese Literature

特集 ジェンダーから見る〈作者〉—和歌と散文— (編集/田淵句美子・新美哲彦)

2024年6月

第30号
目次

巻頭エッセイに代えて

和歌表現とジェンダー

近藤みゆき……………2

『紫式部集』4・5番が女どうしの歌である件

加藤昌嘉……………9

公的事業としての文学作品とそれに関わる女性作者

—『源氏物語』『栄花物語』『枕草子』を中心に—

新美哲彦……………24

『周防内侍集』の編纂意識 —『内侍』という職掌から

大野順子……………40

ジェンダーから再構築する題詠恋歌

—『正治初度百首』の後鳥羽院を基点に—

田淵句美子……………53

『今とりかへばや』と『有明の別れ』における男装モチーフの特徴

—中国の異性装文学との比較から—

邱 春泉……………68

連歌の恋句について —作中主体とジェンダー—

浅井美峰……………81

作り物語の変容とジェンダー

—『雲隠六帖』における紫の上の変容を中心に—

小川陽子……………95

『常盤の姫』の享受圏 —嫁入り本としての意義—

恋田知子……………109

江戸後期の女性に向けて再構築された文学的才能

—『女有職季文庫』を例に—

ゲルガナ・イワノワ……………125